

市議会だより



仙北市として
初めての正月、
門松も市民のしあわせ
祈願する。

主な内容

- 年頭にあたって 2 P
- 12月定例会市長報告 3 P
- 一般質問 4 P
- 常任委員会だより 15 P
- 傍聴席・12月補正予算 18 P
- 請願・陳情・意見書 19 P
- 編集後記 20 P

12月定例会 市長報告



市長当選後の初の定例議会である。冒頭、市長が市政運営について決意を述べた。各部門ごとに進行中の市政、施策についての報告である。

はじめに

私にとって初めての市議会定例会であり、私の基本的な考えを申し述べたい。

まず旧三町村の融和一体化に努め、新市建設のテーマである『観光産業を活かした北東北の拠点都市』の実現に向け、それぞれの歴史や文化、豊富な資源を活かして仙北市全域が特色と魅力ある地域となるよう全力で市政運営に取り組んで参りたい。

- 1、農林業。地場産業の振興と自立支援。
 - 2、安全で安心な市民生活。福祉の向上と少子化。高齢化への対応。
 - 3、人材育成と教育の充実。地域の資源、文化の維持保存と育成。
 - 5、効率的・構成・透明な行政運営。
- この五つを重点に市民との対話を重ねながら実現に向け

努力して参りたい。

そのための新市建設計画策定に取りかかる予定だがその過程で職員の皆様や市民のご意見を頂戴して参りたい。

職員とも一丸となり取り組む所存でありご協力をお願い致したい。

各部の主要事業に

ついて報告

1、『手作り郷土（ふるさと）大賞』を受賞した。

角館武家屋敷が国土交通省から地域住民の創意工夫や活動が優れていると認められその認定証伝達式が十二月に行われる。

2、合併に伴う電算機統合事業が順調に進み、基幹系、財務システム、ネットワークシステムが終了した。次の段階で国保事業、高額医療システム、農家台帳の統合などに取り組むこととした。

3、十一月三十日秋田わか杉国体実行委員会立ち上げ。十九年当市で行われるスキー、馬術、カヌー、軟式野球及びデュアスロンの開催に向け準備を進める。

4、西明寺保育園建設事業、

栃の木六本杉線・平和橋掛替え工事、都市計画街路事業（角館）、田沢湖駅前広場関連事業などそれぞれ計画通り進行している。

5、抱返り溪谷歩道危険箇所防除事業に県予算がつく見通しとなる。

6、十七年産米の集荷状況は、計画の一〇二％で二万二二三〇俵となり、一等米比率は全市平均九三・六％となった。

7、下水道工事は、旧町村で発注し市に引継がれた工事はすべて完工した。

これからの発注見込は、「岩瀬北野線」、「田沢地区の農集排水事業」の十八年着工をめぐり、二億五千万円の予算要求を行った。

8、除雪計画 初めての冬を迎えたが、今年度は旧町村単位の計画で実施する。それぞれ三

地区で安全祈願祭を実施した。

9、病院事業 田沢湖病院は入院、外来とも昨年同期より減少した。

角館病院は入院はわずかに増となり、外来は減少となっている。

両病院とも地域住民の安全安心の医療を提供し、一層の健全経営に努めて参りたい。



オペレーターも汗を流して除雪

12月議会提出議案の審議から 平成十七年度一般会計・特別会計予算確定される。

十二月定例議会は、八日から二十七日までの日程で開催されました。議案は平成十七年度一般会計、特別会計予算の認定と、病院事業会計補正予算、温泉事業会計補正予算、水道事業会計補正予算等が上程され認定された。

この他今まではない十八議員が一般質問を行い、それぞれ合併後の仙北市に関する課題や、農政、教育、福祉問題などに論戦を交わした。

一般質問



新市の将来像について 北東北の観光拠点都市とは？

田口 達生 議員



質問

初代市長として仙北市の将来像。特に『北東北の観光拠点都市』についての理念、構想を承りたい。

市民の眼には漠然としたものしか映らない。合併協が作った『観光産業を活かした北東北の…』の理念は私の考えからすれば『自然を活かした北東北の…』とすべきものと思うがどうか。観光産業を狭義にテーマとするのは自然ではないか。

自然：田沢湖、山岳と高山植物、広葉樹林、農村風景
歴史と文化：武家屋敷、権細工、芸術村活動、などなど
教育・福祉・スポーツ：市民参加の活動。

これらをトータルに包含したものが市建設計画の表題とすべきでないか。

角館南高校に観光学科（仮

称）を作るべきと思うがどうか。

今後プロジェクトチームを立ち上げ、計画の再点検、リフォームが重要と思うがどうか。

市長

新市建設計画のテーマがおかしいと言われたが『観光産業を活かした北東北の拠点都市』は合併協議の早い段階で決定されたものでこれを踏襲して参りたい。

仙北市は観光資源が多く知名度も高い。観光に役立つ実力もある。他にないもの、自然景観だけで無い文化、歴史も又同様である。

『北東北の観光拠点都市』でなく、『北東北の交流拠点都市』と考えて広く人、物、文化の交流の拠点と致したい。観光産業はその一つの手段であり得る。

北浦地域は昭和の大合併では行政区画が違ったが平成の大合併で一つになれた。

職員は既に一つの組織として実践している。建設計画に秘策は無く堅実に。年度内に

着手、一年以内に成案と致したい。

角館南高校に観光学科を取り入れるのも一案、検討してみたい。当面の行政運営をし

つかり進め、長期の計画に取り組みたい。ご協力をお願い致したい。

体制作りをして行きたいと思う。

福祉について

質問 地域づくりの中で福祉を作りあげていく要素があるのではないかと強く思っているが見解を賜わりたい。

市長 少子高齢化の時代の中で福祉、子育て問題には積極的に取り組んで行きたい。

目途に作りあげて行きたい。行政組織、事業計画を検討していく行政プロジェクトをスタートさせ、五年、十年後を具体的な数値で示せるようにしたいと思っている。

耐震調査結果により早期に方向付けを示す必要があると思われるが考え方を伺いたい。

市長 二月に補強工事による実施計画策定書が出来上がる予定になる。それに基づいて整備計画を立てたいと思う。

仙北市の地域づくりの基本について

細川 俊雄 議員



農業について

質問 歴史、伝統文化の関わ

りの中で物を生産していかなければ、地域は潤わない。今は、行政が全てを与える時期ではなく、行政区域の中でそれぞれの役割分担があり、大切な物を大事に維持する努力をしていくのが必要ではないかと考えるが、農業の基本的な考え方を聞きたい。

市長 農業の大切さはこの地

域では特に大きな問題である。農業として、職業として生業として他と競合していくかに伸びていく農業にしてい

くかが大事なことだと思う。三地域の気候的、地形的それぞれ特徴がある。その中で地域毎に農業ビジョンがどうあるべきか農業関係者、農業関係団体、行政が一体となって論議してまとめあげていく組織を作っていく考えである。

教育について

質問 国語教育の重要性、大切さが今見直されて来

ている。情緒力を育てるのが地域を作っていく基本であると思いが考えを聞きたい。

市長 これからの地域を担っ

てくれる子供達、若い世代をどういう形で育てていくか地域の大きな課題として積極的に真剣に取り組んでいく

財産、施設管理について職員の能力を發揮させる基本的な考え方は

質問 財産の管理、職員の能力を發揮させるには基本的な体制づくりが必要とされる。その中でいかに職員の能力を引き出すか見解を伺いたい。

市長 財産管理を一元化し、転用を図り有効活用していくのが必要で早期に取り組み適正管理に努めていきたい。

市長 新市の建設計画を具体的に

にする為、総合発展計画を早期に仕上げていかなければならない。その時期は今年度中に着手し合併後一年を

市立神代小学校校舎の現状をどう受けとめているか。

市立神代小学校校舎の現状をどう受けとめているか。

市立神代小学校校舎の現状をどう受けとめているか。

市立神代小学校校舎の現状をどう受けとめているか。



耐震補強工事調査結果を待つ神代小学校

農業政策について もつと先見性を

辻 均 議員



報提供を迅速にし、法人化組織を農家と一緒に進めていく。

質問 野菜畑公園構想をどう思うか。

市長 これからの農業のあり方として夢のある施策だと思う。

活用の仕方を含め農業関係と意見交換を重ね実現に向かいたい。

質問 都会からの定住化について市長の考えをお聞きたい。

市長 定年後は、三〇パーセントに近い方がふるさとで過ごしたいというデータもあるので受け入れ態勢を整えたい。

質問 スポーツ少年団への支援についてどう考えているか。

市長 青少年の健全育成の面からも強化支援していく。

現在、一団体三万円を支給し、派遣費の実費全額支給を決めている。

市長 資源環境対策も必要になるので、座談会等で情

質問 二〇〇七年度からの農業基本法への市の取り組みは。

市長 市独自の品種開発も必要になってくるが現時点では有機質、炭等を使って付加価値をつけ差別していきたい。

市長 米の新品種を開発推進してブランド化すべきではないか。

秋田こまち誕生から一五年、全国でも栽培される状態でブランド米「あきたこまち」もその効果も薄らぐ一方である。

農業試験場でも優れた品種が沢山生まれている。農家と行政が一体となって仙北市にしかないおいしい品種の開発こそ本当のブランド米だと思うがどうか。

質問 他家族とのふれあいという観点から小学生市内ホームステイ制度を提案したい。これについてどう思うか。

市長 他家族とのふれあい体験は必要だと思うので教育委員会と協議して進めていく。

農林業と地球温暖化対策を

どう考えるか

門脇 彰一 議員



仙北市の 基幹産業に関して

質問 市の産業基盤の現状をどの様に捕らえ将来への政策をどう考えているのか。

森林、林業、木材産業の現状と課題をどの様に捕らえているのか。地球温暖化対策に伴う森林吸収源対策推進のための環境税創設の検討が必要では。

市長 本市は農林業が基幹産業であると認識しているが、二次産業、三次産業に比べて生産高が低く第一次産業が断然トップとして市を引っ張っているとは言えない状況だ。

昔は農業であれば米を作れば、漁業であればたけなを売れば、鉱業であれば売れば生活が成り立つたが、現在はそれに如何に付加価値を付けて高く売ることが課題だ。知恵と工夫と努力が必要な時代と考える。今後も本市は農林業が基幹産業であり続けると思うが、生産されたものを原料として如何に活用していくのか、生産性の低さをどの様に高めていくのかが課題と考える。

観光産業を支える諸産業の中の農林業として他との差別化を図り外貨を稼げる業種、業態になってゆくの、今後もしようとした努力が必要だ。

市としても関係機関、行政でお手伝いして行く。

環境税に関しては県でも必要性を主張しているが、国県をあげて環境を守る必要がある。



緑化祭（元気に育て）

市としても目的税として大いに賛成し、今後考えて行く。

交通安全対策について

質問 高齢者の死亡事故ゼロと飲酒運転撲滅の、市一体運動の具体的対策は。

市長 高齢者の事故、飲酒運転が大きな問題と認識している。交通安全に特効薬はない。

年4回の交通安全運動、広報車の巡回等市を挙げての広報活動、市民大会なども開き交通安全の啓蒙活動を図る。仙北市交通安全対策協議会や関係機関、関係団体の協力を頂きながら市としての役割を果たして行きたい。

交通安全の設備面での不備があれば関係機関に願います。

市長の政治姿勢を問う 新市建設計画は新しい 視野での取り組みを



藤原 貫一 議員

質問 市長の政治姿勢について質問する。

最初に、公平、公正な市民が主人公の市政をぜひお願いしたい。差別のない弱者にやさしい政治をお願いしたい。

市長 公平、公正であることは行政や政治に携わるものとして当然なことと思う。様々な考えの方や立場の意見をよく聞いて市政を推進したい。

また弱者に優しい政治をという事に対しては制度の中での弱者の救済と照らし合せながら進めていきたい。

質問 憲法九条二項を変えないで平和憲法を守ろうとする市民運動に市長は理解し温かく見守る度量が欲しいと思うがこの点どのようにお考えか。

市長 私の個人的な考えというか心境を述べれば日本がこれ以上の準拠するものがない最高の憲法で、戦争の放棄、戦力、交戦権の否認を規定しているこの第九条を放棄することは日本の将来にとって大きな問題であると考えます。私はあくまで戦争のない争いのない社会を望む地域、あるいは国であって欲しいと願う。

そういう意味で現在は九条は守るべきという考えに立っている。



上下水道整備が急がれる荒町地区

質問 新市建設計画、特に実施計画の素案をこの在任期間中に討議を始めることができるのか。

関連して①神代小学校の耐震危険校舎の建て替え。荒町・森腰地区の上下水道の建設などの住民要望について市長のお考えと対策を承りたい。又城回り地区（橋本整形外科医院後から森林組合前）を角館延長の形で新たな都市計

画を策定すべきではないか。同時に国道二本が交差する本町地区も同様である。

市長 実施計画は十八年度一年をかけて完成させたい。在任期間中に一定の計画を示すことは無理と思うが十八年度予算編成に向かう三年間を見通した形で考えるつもりである。ご質問の神代地区の諸課題は、住民要望の高いことを承知している。

地域センターの役割を強化すべきではないか

荒木田 俊一 議員



市政の運営

質問 地域センターは、合併によるサービス低下と、不便を解消するため設置されたが予算が伴っていない。役割の重要性に鑑み一定程度の予算配分をすべきと思うがどうか。

市長 政策的課題は本課で行い、地域センターでは地

域的固有の課題や独自の課題について取り組んでおり、軽微なものでは行えるよう一定枠は用意している。

質問 合併して三か月、業務内容に見合った人員配置がされているのか伺いたい。

市長 現状を万全とは思っていない、状況を見ながら配置替えしていきたい。

質問 ち上げについて議会へ説明前にマスコミで報じられているのか疑問である。具体的な考え方を伺いたい。

市長 子育て支援事業について、地域のアンバランスがあるのではないかと。生保内、神代、松木内は実施中であり、角館は十八年度から実施予定でアンバランスは解消できると思っている。

市長 マスコミ報道について は申し訳なかったと反省している。当面、8項目の検討課題について各部の課長補佐クラス十五人で進めていき、メンバー入れ替えも考えている。

幼稚園・保育園の運営

質問 全市的に見れば、一体型・どちらか一方とバラバラである、今後の運営の基本的な考え方を伺いたい。

市長 幼保一体化の方向に向けて進めていきたいと考えている。また、直営・嘱託二面で進めているが今後検討していきたい。

質問 十八年度の募集が行われた場合入園希望の調整があるのか伺いたい。

市長 保育園間、幼稚園間どうしはある。幼保間は原則としてないが希望があれば話し合いをし対処していきたい。

質問 子育て支援事業について、地域のアンバランスがあるのではないかと。

市長 生保内、神代、松木内は実施中であり、角館は十八年度から実施予定でアンバランスは解消できると思っている。

秋田内陸線について

門脇 光郎 議員



質問

世紀の悲願、秋田内陸縦貫鉄道も平成元年に全線開業してからわずか十六年、今やその存続さえも危ぶまれる危機に直面しているが住民の生活路線であると共に観光路線としての条件も十二分に持っている。

結局は収支の中で赤字補填をどうするかを検討を重ねている所である。

秋田内陸線再生支援協議会を立ち上げ、国の支援を受けながら経営改善を計る為に再

市長 永年の悲願として開通された秋田内陸縦貫鉄道であ



秋田内陸線継続の願いを込めて

生計画を作成する事だった。

旧三町村の合併に向けてのさまざまな協議中で有り、実質的に沿線町村で有りながら、この協議会には十分な対応が出来ないままに再生計画の立案が成されて作業は進められた。

十一月十日に沿線二市一村の自治体に県、支援団体、会社等含めての協議会が開かれ再生計画、現状の改善項目が幾つか上げられ、数字的改善

方向が提案された。

収支の中で目標とした赤字を一億五千万まで圧縮しても、まだ四千万強の赤字がさらに残る内容であり、可か否かの再生案であつて、自立できるような案ではない。更に検討し、改善策を練っている所である。二月中には何らかの結果が出て来ると思う。

最終的な意思としては、この内陸線を残す方向で良い案を見出し行きたいと思つている。

全農の不祥事に対する

行政の対応は

佐藤 生治 議員



ちを醸成する教育の一端として、それぞれの学校で行っている特色ある課外授業に対する考えを伺いたい。

市長 時代の流れの中で、変わらざるを得ない部分もあるが、学校ごとの特色や良さは継承し、それぞれが他の学校の良さを学びあうことも大切である。

また、行政、教育委員会が全体的な教育方針や施策を打ち出すわけだが、行政も努力するが、加えて、地域や教師、

そして保護者の皆さんには、熱意と意思を持つて良いものを残すための地域づくりをしていただきたい、次の世代に継げていきたいと思つているところであり、郷土と子供達の心のつながる教育をしていきたい。

農業問題

質問

全農秋田による米の横流し事件は、事件としては決着がついたが、農家に与えたダメージはまだ決着がついていない。このイメージダウン、そして信用回復には大変な努力が必要と思われるが、米どころ仙北市の市長としてどのように考え信用回復のためどう対応するのか伺いたい。

市長

事件については遺憾に思つている。この事によって農家の長年の努力がフイになる事はあつてはならない。ただ楽観する訳ではないが、消費者は事件を冷静に受け留めていと思うし、そうであつてほしいと思つている。

事件の影響を最小限に留め、仙北市の生産物の評価をより高めるため行政も農家と一体となつて努力していきたい。

教育問題

質問

教育は十年、二十年という長いスパンの中で結果が現われてくると思う。そこで仙北市の子供たちをどのように教育していくのか、市長の思いの一端をお聞かせいただきたい。特に、親を愛し、家族や郷土を愛する気持ち

農業に景気回復を



藤井 義廣 議員

でいかなければならないと思
う。

多に研究して担当部所
進めたい。

質問 神代の子供達を安全な
校舎で勉強させる為にも
耐震調査の結果をふまえ、角

質問 農家の景気回復の為野
菜、花等の減反作物に県
単事業助成は十二分の四であ
る。

市独自に十二分の二を高上
げして十二分の六にすること
はできないか。

市長 仙北市の農業は大切で
あると思う。

県単事業に嵩上げの件につ
いては、国、県、市の押しつ
けではなく、農業者自ら取り
組む為の懇談会や研究会等を
開き、生産意欲を引き出させ
る事から手がけていきたい。

質問 米のこだわり米、炭を
使った米など、付加価値
をつけた米があるが、堆肥を
利用した米の生産の為に、
生ゴミと家畜堆肥を組み合わ
せた、堆肥センターの建築に
取り組めないか。

市長 堆肥センターの建築に
ついては、循環型の農業
と言うことで、今後取り組ん

農林業をまもり 発展させるにはどうする



平岡 均 議員

質問 同じ農水省の中で出さ
れる統計に差がある十六
年度産米は十アールあたり十
三万五千円になっている。こ
のような統計の基で仙北市の
予算が組めるのか。

市長 統計に差があることは
誠に申し訳ないが知らな
かった。

館小学校の統合改築にあわせ
て取り組む気持ちはあるか。

市長 調査結果の内容につい
て経費がどの程度になる
のか、補強してそれで良いの
か、あくまでも調査結果をみ
なければいけないと思ってい
る。

角館小学校の統合改築の後
に神代小学校の校舎改築と考
えている。

十八年度予算はこれから組
む事になるが、苦労はあると
思う。各担当部所の情報を集
めて予算にあたりたい。

質問 除雪の際家の前に寄せ
られた雪は、いったん踏
み固められると寄せにくくな
る。高齢者はなおさら大変で
ある。

除雪車の後に人をつけて寄
せることはできないか。
通学路の確保に努めてほし
い。

市長 今年には雪が多く毎日除
雪車を出している。

各家の前については皆さん
苦勞されていると思う。

今までも問題にされてきた
が、除雪車の後に人をつけて
ということは考えていない。
除雪車のオペレーターの方
に指導しながら進めて行き
たい。

質問 旧三か町村で非核平和
宣言をしているが、仙北
市でも宣言をいち早く立上げ
るべきではないか。

市長 旧三か町村で非核平和
宣言をしているので、仙

北市としても宣言活動は持続
していきたく思っている。

議会発議のかたちで進めて
いただければありがたい。
質問 老人医療費の大幅な自
己負担増に市長は賛成か
反対か。

市長 高齢者の負担増につい
ては喜んで賛成する者で
はない。負担増にならないた
めのメニューを検討しながら
努力していきたい。



万が一に備えて

秋田市並に NPO法人に免税措置を

狐崎 捷琅 議員



質問 最近グリーンツーリズムとか、地産地消、などの言葉をよく耳にする。実際にこれらを立ちあげ、具体化する場合はNPO法人を立ち上げる場合が多い。

一方、このNPO法人の立ち上げがなかなか進まない背景には市民税の均等割部分の問題がある。

収入ある無しにかかわらず毎年五万円の税金を収めねばならない。秋田市のように免税措置の条例を作られないか。

市長 仙北市には現在NPO法人は五団体ある。NPO法人を作るということはその社会的価値が高まるなどの利点もあるが、当然義務も生ずる。

しかし、ご指摘のようなことがあり、NPO法人が伸び

ていけないのであれば私達仙北市としても検討すべき問題である。

質問 学校建築の際の教室の天井の高さの基準が三メートルから二メートル七十以上にしてもよいと建築基準法施行令が平成十七年十一月から改正された。仙北市でも小学校建築が控えている。

今回の改正は天井の高さが三十センチ低くても良いということと冷暖房費が節約できるということと建設費が一、五%安くなるというメリットがある。

少しでも建設費を節約したいという仙北市にとっては好都合な法改正と思いい、仙北市の学校建築において天井の高さを二メートル七十にするこ

とが可能かどうか質問したい。
教習長 小学校は統合された場合三十五人学級が暫く続く。そうした場合心理的圧迫感がでると思う。それゆえ三

メートルの高さにしたい。メートルの二十億で学校を建てたときには、三千万円が浮くし暖房費も安く済む。仙北市の財政を考えてのことである。

質問 尚、文部科学省は、四十人学級のデーターである。

教習長 中間答申には、単に経費節減のためだけで二メートル七十にしない様にとも書いています。

それ故、現在は三メートルを考えている。
質問 国体のカヌー会場の進捗状況をお聞きしたい。

市長 カヌー競技については基本的にその競技の時期に合わせて工事を進めていく。国体競技会場については、十九年の三月まで完成させたという方向で進めているのでご理解を賜りたい。

中学校の統合と 新庁舎の位置について

伊藤 邦彦 議員



質問 旧西木村には檜木内中、西明寺中の二校があるがいずれも生徒数の減少により様々な弊害が出ている。二校の統合は平成二十二年頃を目指しているとの説明を受けてきたが、それでもどうにか百人を超える程度である。そこでその二校に神代中も一

緒に統合してはどうか。校舎は教育環境が素晴らしく三校の中央に位置する西明寺中に、生徒数二百五十名程度の仮称（仙北市北中）が誕生する。さらに新庁舎を統合で空いた神代中を当てたらどうか。

多くの優れた人材を育ててきた神代地区の皆さんの思い出多い学び舎をそのまま残して庁舎にすれば財政がことのほか厳しいなか巨費を投じて庁舎を建設する必要がないのではないか。



国体のカヌー会場予定地

市長 いずれ（教育環境として）一定規模の生徒数は必要だがその時期、規模に関しては十分な検討が必要だ。神代中を市役所にとの提案だが確かに神代地区は様々な面から（考察して）重要な適地のひとつの大きな候補と考えるが、しかし建設の時期、位置に関してはまだまだ検討の必要がある。

教員 神代中を市役所にとの提案だが建設から二十五年から、三十年近く経っており場所、土地としては仮に良いとしてもそのまま庁舎として使用するには不十分であり改修や補強にどの程度費用がかかるのか、そうした面も含めて検討しなければならぬ。

貴重な提案をいただいた、今後あわせて検討させていきたい。

学校の統廃合については十九年度の上檜木内小と檜木内小の統合、二十年度予定の角館東、西、西長野3つの小学校統合は計画どおり現在進めているが中学校の統合について現在計画はない。

伊藤議員の大変大胆なご提案は今後参考にさせていただきます。

地域審議会について

質問 仙北市が均衡ある発展を図り、住民の負担に答えていくためには、設置予定の地域審議会の果たす役割は大きいと考えるがいつ立ち上げるのか。

設置期間は？審議会は市長の諮問機関との事だが、独自の審議は出来るのか、委員は十五人以上との事だが三地区とも同数か、また選任方法は。

市長 立ち上げは十八年の二月を予定している。設置期間は合併協議の段階で平成二十八年三月末と規定をしている。審議会独自の審議は所掌事項として審議会独自で必要に応じて審議した事項を市長に述べる事が出来ると規定されている。

委員の人数は三地区同数で進めたい。構成については公共的な団体を代表する方、学識経験者、地域行政運営に優れた見識を有する方、こうした方々に公募により選任された方々を加えて十二人から十五人以内で構成人員を決めたい。

（1）政府のいわゆる三位一体の財政計画。特に地方市町村に対する財源移譲や補助金削減問題は当仙北市にも大きく影響してくると思う。心配なのは義務教育費の国負担の大幅削減である。市長はこれに対してどう受けとめているのか承りたい。併せて市の財政見通しに狂いが生じないのか。カットされる分、移譲される分の試算を承りたい。

寺田県知事の子育て新税構想について市長の見解を問う
他の分野では予算を湯水の如く使い、教育、子育てだけ新税では納得できない。
いずれ国、県の庶民いじめの増税に対し市長は体を張って闘うのが地方自治と思うが

市長の政治姿勢を問う

国、県の地方財政政策とどう向き合うのか

浅利 則夫 議員



市長の見解を問う。
合併により周辺部、山間部への住民サービスから取り残されるのではないかと心配である。そのことについて市長はどう答えるか。

合併により後退したサービス、例えば敬老式、敬老祝金など復活できないか。子育て支援の一環として中学校卒業までの児童の医療費無料代など検討すべきでないか。
（2）アスベスト対策は万全か。又、出稼ぎ時に被災して

これから発症する心配と対策を問う。
市長 三位一体の税源移譲が充分なものか心配はある。市長会、全国の組織の場で主張して参りたい。

環境税、子育て新税の知事提案は唐突の感がある。納得できる説明と情報が欲しい。

周辺部、山間部の施策は合併協議が柱となる。合併により極端に悪くなることは無い。旧西木村は平成二十一年まで過疎債の事業がある。

敬老式廃止、敬老祝金の減は合併の故でなく長寿社会による変化と考えて欲しい。
アスベスト対策は市内四ヶ所の施設を万全の対策で除去する。権細工芸館は未調査である。いづれ重要な問題として取り組みたい。

お知らせ

調査の結果、アスベストは、含まれておりませんでした。

アスベスト調査進む

仙北市内の 農山間部の活性化について

武藤 耕三 議員



要かと思う。それをもとに目指す仙北市の子ども像を設定し、子ども育成に気風を盛り上げて行きたいと思っっている。家庭、学校、地域と互に切磋琢磨しながら連携を深め取り組んで行きたい。

市民に協力を得られる行政サービスについて

質問 行政サービスの原則は、適切、且つ迅速でなければならぬ。市民の為の行政、どのようにして協力を得られるかお伺いしたい。

市長 行政に住民参加は不可欠であり、協力をいいただき財政負担の軽減等行う内容を理解、協力を得られるかが今後の課題と思っっている。

市立病院の 管理運営について

質問 合併により二箇所の市立病院の管理運営をどのようにして行くのかお伺いしたい。

市長 合併協議会において新市に引き継ぎ、当面の間

現状のまま運営をする。病院事業の会計については地方公営企業法が全面適用となり両病院共、統一しており、一款田沢湖病院、二款を角館総合病院として会計処理している。

今後については、急性型病院、療養型病院なども、ひとつの考え方であると思う。

当市、又は周辺の地域の人口、高齢化率等含め市立病院の役割分担をどのようにして行くべきか、方向が出てくると言える。



2つの市立病院管理運営はようになる？

仙北市の財政状況と 建設事業について

高久 昭二 議員

ているか。

市長 財政というのは十月末は取らえるものではない。財政状況的に取らえても、一時借入れもなく、資金繰りのシヨートは起こしていない。

質問 まちづくり交付金事業ではこれ迄駅東地区住民に十分説明責任が果たされているのか。

市長 旧田沢湖町では担保提供により利率が十分の一低額になる事から確かに基金を担保にして一時借入れをしていた。基金は「最も確実かつ有利な方法で保管する」と言う事から、財政上有利とは言え、今後の運用方法では十分検討して取り組みたい。又、

市長 当該事業での住民説明会は六回程行なつて来た。事業内容変後も四回開催している。今後も地元の理解が得られるようして行きたい。

質問 アロマ田沢湖に対し、旧田沢湖町が無利子で貸し付けている五千万円が不良債権となる心配がないか。

市長 平成十三年九月に経営支援のため、アロマ田沢湖に五千万円、無利子貸し付けがされている。当該資金は据え置き期間を設定、平成十九年九月から償還が行なわれる事となつており、現時点では不良債権云々を申し上げる段階ではない。

質問 旧田沢湖町での基金運用において、指定金融機関からの「一時借入れ」の際に、基金の定期貯金を担保提供した事例があるかと聞いたが事実か。又、現時点では全て精算されているのか。

質問 農山間部の多くの市民は、合併による期待感とは裏腹に過疎化が進むのではないかと不安感を持っていてお伺いしたい。

市長 仙北市全体の均衡ある発展をと、すべてに目の届く姿勢で心掛け、仙北市全般の事業、農山間部の活性化を含めた新市建設計画に添って進めて行きたいと思っっている。

質問 仙北市の教育の充実と未来に結びつく家庭教育、学校、地域との一貫性を求められるが施策についてお伺いしたい。

教育長 仙北市の子供達は未来を担う地域の宝物と思っっている。家庭、学校、社会教育の一貫性については、全市を力バーする教育の指標が必

市長 合併協議会において新市に引き継ぎ、当面の間

今後の市の財政状況は厳しいものがあると思うが、十月末の財政出納状況はどうな



質問 仙北市の財政状況と建設事業についてお訪ねしたい。

今後の市の財政状況は厳しいものがあると思うが、十月末の財政出納状況はどうな

現時点では仙北市の一時借入れはない。

質問 旧角館町は都市計画事業を進める目的税として計画区域内を対象に都市計画税を賦課して来た。税の不公平は正の観点から同税を廃止すべきであると思うが。

市長 都市計画税については都市において事業見直しを含めた検討を行なう事となっている。将来的には廃止の方向で検討を進めてまいりたい。

質問 高齢者、障害者の福祉増進を図る入浴無料券の配布は旧角館町では廃止したが旧西木村クリオンでは半分に縮小して継続している。全市対象の入浴無料券発行を十八年度予算の中に計上できないか。

市長 入浴無料券配布に変わる健康増進の方法があると言う事で廃止・縮小された経緯もあるので、それも加見しながら市内統一した考え方でのおつかけを進めて行きたい。

質問 当地区において障害者施設の整備が立ち遅れている。市独自の通所施設、授産施設の整備を図るべきではないのか。又、介護保険対象

外の障害者にも介護タクシーが利用出来る市独自の助成制度の確立を図る必要があるが。

市長 施設等への交通の確保については、介護者、障害者のみならず子供の通園通学も含め市の大きな課題である。

市民バス等の定期運行および必要な時に利用できる交通手段を市の実情に合わせた形での方法を考えて行きたい。



健全経営が期待されるアロマ

男女参画社会を どう考える

小野 マサ 議員



質問 旧角館町において執行されて来ている「まちづくり交付金事業」が六月定例会で一部計画変更がされた。この事業執行内容について次の事を伺いたい。

当該事業は長い年月を掛けてようやく住民の了解と合致した計画で練り上げられて来た事業である。なぜ住民に明らかにせず計画変更したのか。

市長 六月定例会後に当該事業の地元説明会は四回開催し、この中で変更内容は理解を得たものと解釈している。

まだ説明が十分でない由の質問と思うのでこれからも理解を得られるよう説明をして行きたい。

質問 「まちづくり交付金事業」の変更は国への変更

届が必要はず、届けたのか。

市長 国への計画変更届けは平成十八年十一月に予定されている。

計画変更の手順としてこの時期進むという事で問題はな

いと考えている。

質問 駅東地区には「大型店」が出店する計画もあり、益々交通量が増える事が予想される。こうした中でも現道幅の六メートル道路で良いのか。駅東南北線はこの先、地域の主要道路となっていくもの。安全性についての市長のお考えを尋ねる。

市長 部分的な改良、道路の安全性などには当然配慮しながら全体の整備を進めてまいりたい。

質問 国県が進めている男女共同参画社会造りの実現に向けて仙北市ではどのように取り組んで行く計画なのか。市としての男女共同参画計画書は作成されているのか。

市長 男女共同参画計画書は旧町村では作成されていない。

たが、仙北市の計画書はまだ出来ていない、合併後の統一した仙北市版計画書の作成して行きたい。

質問 仙北市において委員会、審議会等への女性の登用をいかに促進して行くか。又、市の一般管理職への女性登用率向上を図るべきだが市長のお考えは。

市長 市行政を見ても女性の活躍の姿が薄いのが実状。女性の管理職は三名しかいない。知識及び指導力の研修等により管理職資質を養成し登用を図って行きたい。各種委員会へ女性登用も今後の市のあり方として環境作りを努めてまいりたい。

質問 市で働くパート、非正規雇用者に賃金格差はないと思うがどうか。又、パート等雇用者に対してもボーナスを支給する等の待遇改善策が必要と思うが、市長のお考えは。

市長 市のパート職員は百四十八人。雇用保険、社会保険は加入条件を満たしている場合は加入して頂いている。有給休暇制度も取り入れている。男女の賃金格差はない。

抱返り溪谷の 今後の整備について



真崎 寿浩 議員

質問 抱返り溪谷の今後の整備内容はどうか。

市長 溪谷は、年間十九万人もの方々が訪れている。しかし途中崩落等荒れた状態の箇所もあり県の単独予算で十八年から三年で二億五千六百七十万円で整備の予定である。

質問 溪谷側の安全柵、手すり等をつけて安全に配慮すべきと思うがどうか。

市長 整備計画の付帯工事で付けることになっている。観光客の声とし公設トイレが景観上悪い。休み場所がない。地場産物の売り場がないなど聞かれるがどう思うか。

市長 市として抱き返り溪谷をどう整備するかを詰めていく。

質問 神代駅から芸術村からのアクセス道路として

歩道や遊歩道を整備すべきとおもうか

市長 仙北市として総合的に考えをまとめて改善していく。

質問 個人的に観光と結びつけて農業所得を上げていける方もいるがまだまだ足りないと思うがどうか。

市長 人が集まり、交流があるって物が売れて生活ができるので観光業の方だけでなく意識を変えていく必要がある。

質問 旧町村毎の歴史と文化を相互理解し知識として知る必要があると思うがどうか。

市長 皆さんが共通の知識を持てるよう手立てを考えたい。

質問 全国的に子供が犠牲になる事故が起っている。街灯の設置が必要と思うがどうか。

市長 優先順位をつけて改善していきたい。

質問 市道の危険や狭い箇所、交通標識などを総点

検して安全の確保が必要と思うが。

市長 危険な箇所は安全上、そのまま放置出来ないの

で公安委員会の指示を頂き改善していきたい。

観光産業の振興について



八柳 良太郎 議員

武家屋敷付近の駐車場整備について

質問 角館町に昨年桜並木駐車場が完成したことにより、武家屋敷の観光客の流れが変わり町の中に入って来る観光客が激減したと言われているが駐車場をどう捉えるのか。

市長 町有地を使用している隣地は規制しているが同一敷地内で営業している。このことについて全体の影響を考える立場にある行政はどのように考えているのか。駐車場の管理を明確にすべきと考えるが教え頂きたい。

市長 観光客の流れはいろんな必要用で変わる。駐車場

なお、身障者の方、関係団体等の駐車スペースは一部用意している。

質問 大曲仙北造園協会が管理する賃借関係はどうなっているかお聞きしたい

市長 五年契約無保証賃借で市が最終用途が決まった場合、五年以内でも返還を求めることが出来る。

質問 伝承館運営審議会委員が十五名から十名に削減されたが課題毎に人を増やさないか。

市長 内容について熱意、知識をもった人を選ぶのが先で、十分と思う。

道の駅について

質問 住民のニーズは、休憩トイレ、情報発信、地域の連携等が用いられる事から誘致すべきと考えるがどうか。

市長 今後検討、研究して結論を出す必要があると思う。重要な課題として取り組んでいきたいと考えている。



常任委員会だより



問 「自然ふれあい温泉」は県からの依頼で十八年度は直営でいきたい。

答 基金の十七年度の見込総額は、約十五億、起債の十七年度見込総額は、約二百八十二億六千五百万、特別会計の総額が約四百七億七千六百万円。起債総額は、約六百九十億四千万円である。

問 都市計画税は生保内地域には賦課しないことになる。

答 合併協議のすりあわせで現行税の不公平感をなくす方法を検討すべきと思うがどうか。

問 合併市町村交付金として一億二千万円を補正している。これは、総額五年間で六億円である。

答 国の合併市町村補助金は、交付される見込だが、現段階では金額補助期間についてはまだ明確になっていない。

問 特別交付税については、昨年の三町村の総額が約七億六千万であり、現在の交付額が五億八千三百三十万である。

問 昨午並とすれば一億二千万ほどの交付が見込まれる。

答 仙北市基金総額、債務の総額合併特例債の上限について説明して欲しい。

問 基金の十七年度の見込総額は、約十五億、起債の十七年度見込総額は、約二百八十二億六千五百万、特別会計の総額が約四百七億七千六百万円。起債総額は、約六百九十億四千万円である。

問 合併特例債は十年間で、百四十四億まで起債可能である。

答 基金を担保にした一時借り入れは現在全て解消済みである。

問 国体関係の全体予算、市が支出する予算について資料提出して説明して欲しい。

答 合計予算総額は約二億七千八百七十三万、うち県補助関係は、約一億二千五百五十七万五千円、仙北市補助金が約一億五千七百十六万円である。

問 平成十七年度仙北市生保内地区財産区特別会計予算について

答 平成十七年度仙北市田沢財産区特別会計予算について

問 平成十七年度仙北市雲沢財産区特別会計予算について

問 平成十七年度仙北市田沢財産区特別会計予算について

答 平成十七年度仙北市雲沢財産区特別会計予算について

問 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少を可とした

問 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について

答 慎重審査の結果全会一致で原案を可とした

問 慎重審査の結果全会一致で原案を可とした

答 字の区域変更について(三案)

問 三案とも慎重審査の結果全会一致で原案を可とした

答 過疎地域自立促進計画の策定について

問 西木地区が村から市になってデメリットはないか。

答 この計画が策定されれば、今後五年間引き続き過疎債が適用される。

問 慎重審査の結果全会一致で原案を可とした



自然ふれあい温泉館

教育民生 常任委員会

●平成十七年度一般会計予算 主な質問事項と答弁

問 介護保険の改正により負担増になっている、市独自にできるサービスはないか。

答 サービスが低下したと言われないように検討してきた。

問 健診の結果後の取組と高齢者に対する健康教育は。

答 医療機関の受診や、各教室を開催し食生活指導や運動指導・生活指導を行っている。高齢者に対しては、介護予防、寝たきりにならないような予防を中心に行っている。

問 旧三力町村に最終処分場があるが、今後の利用は。

答 三力所を平行して使用していく予定である。

査で危険との結果が出ているのになぜ耐震補強設計をしなければならぬのか。

答 今までは危険校舎はすぐ改築できたが、国の方針が大きく変わり耐震補強設計を受けて、二月の判定委員会方向が定まることになっている。危険な校舎であることは認識しているので早急に対応していきたい。

平成十七年度国民健康 保険特別会計予算

人間ドック助成費

今年度は二三人の受診を見込んでいます。
生活習慣病予防対策費

脳卒中、心臓疾患、糖尿病、健診で要検査となった方々の健康指導である。

平成十七年度老人保健 医療特別会計予算

平成十七年度介護保険 特別会計予算

施設補修

清眺苑は建築後二十五年経っており老朽化が進んでい

る、建築等今後の検討課題である。にしき園は十八年度機械、備品の更新予定、十八年度以降改築を考えている。桜苑は今のところ修繕計画はない。

平成十七年度病院事業 会計補正予算(第二号)

田沢湖病院給与計算システム委託料は、病院事業は合併後公営企業法が適用になったため、市役所に事務を委託しているがその負担分である。

病院間、各診療所、開業医間のネットワーク化を進めており、患者の利便性を考えて近くの病院でできるものは近くでと考えている。

以上の議案については、いずれも全会一致で可とすべきものと決定した。



通学路の安全確保

産業建設 常任委員会

問 小勝田頭首工改修事業は今後どのように進むのか。

答 県単事業での今年からの調査費である。この後、水利権等の協議があるので、二・三年はかかりそうだ。

問 認定者農業者農地利用調整推進事業、認定農業者経営改善支援、中山間地域等直接支払事業について。

答 認定農業者農地利用調整推進事業は、旧田沢湖町の利用調整関係の事業。認定農業者経営改善支援費の予算については、旧田沢湖町分である。

認定農業者数は、角館地区八十二名、田沢湖地区百七十一名、西木地区九十七名の合計三百五十名となっている。認定農業者の年金加入に

ついては把握していない。

中山間地区等直接支払事業については、昨年見直しがあり、新たにスタートしたという形になっている。新たに指定を受ける場合は県と協議していきたい。

問 牛・豚の頭数は。また生ごみ等による環境汚染について。受精卵移植の補助について。

答

- ・肉牛用 百二十八戸、
- ・肥育牛 三戸、百四十九頭
- ・乳牛 八戸、九十六頭
- ・豚 十一戸、千九十九頭

循環型農業の推進ということがこれからの課題となる。今後、新市の計画の中で、進めていかなければならないと思っている。担当課としてこれからの重要な課題と考えている。

受精卵移植の補助は一万五千円である。

労働費

一般総務費の他は、出稼対策費百五十六名就労前の健康診断・広報の送付代・等に支

出されている。

その他従業員技術習得及び資格取得研修事業費等である。

商工費

一般商工総務費の他商工業振興対策費、特産物販売関係として、平成七年度から横浜で行われている「山の楽市」等に対し支出され、仙北市の知名度アップと特産品や地場製品の販売促進に対し成果を上げている。

特産品の開発に対しては、引き続き取り組みの強化するべきである。

観光費

観光の市をめぐす仙北市として、観光地としての魅力を引き出すためにも、創意工夫し、マンネリ化を防ぎながら充実した運動をしてほしい。

一日も早く東北一の観光地になることを望むものだ。

桜振興費

樺細工費と伝統工芸樺細工技能後継者育成事業費につかわれている。

伝承館費

職員給与と管理運営費が主なものである。

農業委員会費

委員報酬、職員給与が主なものである。

農業振興費

あなたと地域の農業夢プラン応援事業、新山村振興等農林漁業特別対策事業、花葉館周辺整備用地取得事業、グリーンツーリズム推進事業等にあてられている。

観光とむすびついた農業振興を進めていくべきである。

畜産振興費

自給飼料増産総合対策事業、家畜導入事業、肉用牛特別導入事業基金繰出金等である。家畜排出物と生ゴミ



堆肥と生ゴミのリサイクルを期待する（堆肥センター）

の処理を考えた、堆肥センターの建設を進めるべきである。

土木費

冬期交通対策費、道路改良事業費、道路舗装事業費、中央線道路改良事業費、平和橋架替事業費等が主なものである。

傍聴席

「三酔人傍聴問答」の一幕

遠藤 康（角館町住）

童馬と同じ土佐の民権家に「東洋のルソー」と呼ばれた中江兆民がいる。兆民には『三酔人経論問答』という傑作があり、洋学博士、豪傑君、南海先生が洋火酒フレンチに酔いながら問答する趣向である。私も屠蘇ソウソに酔いながら問答を：

豪傑君…先生よ、議会傍聴に行ったって、なんで？

南海先生…初代市長激励と議会諸候の御尊顔を拝むにサ

洋学博士…そう言や議員は在任特例とかで五十数人も：

南海先生…そう。昔のスシ詰め学級の頃を思い出したヨ

豪傑君…彼等は如何に？

南海先生…事情はあろうが欠席・遅刻・早退…があつたのは意外だったなあ：

洋学博士…肝腎の議論は？

南海先生…基幹産業たる農村業と観光産業の位置付け等

豪傑君…教育関係は？

南海先生…時節柄、耐震性校舎や小学校建築規準の件や高校統合の事も話題に出たナ

洋学博士…印象的なのは？

南海先生…ベートーヴェンの「第九」が普遍性ある如く憲法「九条」も普遍的だつて事かナ。さあ第九を歌おう！

豪傑君…なにそれ？

洋学博士…分からないの？

（三酔人は「歓喜」を合唱し始めた一幕）



十七年度十二月補正予算

仙北市病院事業会計、仙北市温泉事業会計、仙北市水道事業会計が補正される。

市立角館総合病院事業収益的収入合計一千六百八十九万七千円プラスされ三十二億七千三百二十七万三千円となる。

収益的支出は二十九億七千九百四十二万円である。

温泉事業会計では、予備費を七百七万六千円を減じて営業費にまわすものです。

水道事業費についても、給水量減による収入源による収入源二百十五万二千円にともない、予備費二百六万五千円を減じて営業費にまわすものである。



水沢温泉の源泉

請願・陳情・意見書

各常任委員会に付託された陳情書について、各委員長から審査結果の報告があり、採択九件、継続審査二件である。

なお議会としてそれぞれの趣意に基いた意見書を議決し、内閣総理大臣など政府に提出した。

陳情

採択されたもの

- ・患者、国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める陳情書
- ・社会保障制度充実と最低保障年金制度を求める陳情書
- ・仙北市角館町雲然碓・田頭・荒屋敷地区の町道舗装について
- ・仙北市立保育園入園児定員過剰時における人員調整の陳情
- ・子宮頸がん検診の逐年施行のお願い
- ・安全でゆきとどいた医療、看護をするために、看護職員の人手不足の緊急改善を求める陳情

継続審査

- ・庶民大増税の中止をもとめる陳情書
庶民の目線に立てば明らかな増税であり採択すべきという意見と、財源確保の問題もあり慎重に審理すべきという意見があり、採択の結果、継続審査と決定した。
- ・介護保険の改善を求める陳情書

- ・地方交付税、地方財政の確保に向けた意見書採択を求める陳情書
- ・一級河川生保内川に魚道設置について
- ・法務局の増員に関する陳情



一級河川生保内川

控室風景

昔小学校の停電の時思い出すんしな」といいながら入ってくる議員。「ラジオのトンチ教室を思い出すんしな」という議員もいた。果たして若い議員達は何を思い出すのかなとふと思った。

議長の「暫時休憩をとりませう」という言葉で特に決まった控室がないため、五五人の議員達はそれぞれ三三五五どこかで休憩をとっている。ガラ、ガラという鐘の合図でまたどこからか集まってくる。「この鐘の音を聞くと

仙北市選挙管理委員		
委員	佐々木 昭雄	仙北市田沢湖
委員	高橋 政宣 <small>まさのぶ</small>	仙北市角館町
委員	高橋 正美	仙北市角館町
委員	佐藤 透	仙北市西木町
補充員	羽川 昭紘 <small>あきひろ</small>	仙北市田沢湖
補充員	武藤 薫	仙北市西木町
補充員	戸澤 幸作	仙北市角館町
補充員	平岡 京子	仙北市田沢湖

仙北市農業委員議会推薦	
藤原 助一	仙北市田沢湖
藤川 栄	仙北市田沢湖
鈴木 龍三	仙北市角館町
新山 昌樹	仙北市西木町

仙北市固定資産評価審査委員		
委員	元野 英雄	仙北市田沢湖
委員	進藤 敏夫	仙北市角館町
委員	本庄 護	仙北市西木町

仙北市監査委員		
委員	新山 悦男	仙北市西木町
委員	熊谷 佳穹	仙北市角館町

編集後記

仙北市がスタートして始めての市議会だよりです。

編集者一同張りつめた気持ちで、発刊第一号にハジないように努力したつもりです。

まだまだ完全ではありませんが、仙北市の仲間づくりにいくらかでも役にたつことが出来れば幸いです。

《不足は物にあるのではなく満たされぬ心にある。》

三か町村の市政ではなく、一つの仙北市として、市民の方々の心が満たされる様な市政と仲間づくりに努めてまいりたいと思います。

《百メートル走者もフルマラソンの走者も最初の第一歩から始まる。》

仙北市のゴールはまだまだ前にあり見えないが、一歩ずつ確実に前進してほしい、市議会の歩みを正確に伝えるため努力してまいりますのでよろしく御願いたします。

夢ある仙北市を期待しながら編集後記とします。

佐藤 生治

広報委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
佐藤 生治	狐崎 捷琅	辻 均	小田嶋 忠	阿部 則比古	橋本 左武郎	信田 幸雄	浅利 則夫	藤原 貫一	

